



NPO法人 北海道海浜美化をすすめる会

# 海浜美化講演会 2026

《森・川・海～つながる自然環境》

2026年2月7日(土) 13:00 開場・13:30 開始

演題 「ブラックスモーカーの発見～深海探査船のもたらしたこと～」

講師 土屋 篁 氏 たかむら 山の手博物館名誉館長



## プロフィール：

長野県出身。最終学歴；北海道大学理学部大学院博士課程。理学博士。山の手博物館名誉館長。卒業論文で領家変成帯北端の変成岩・火成岩の研究に携わって以来、北大で阿武隈変成帯・北上山地・北海道各地の岩石を研究。下川鉱山・豊羽鉱山・千歳鉱山などの鉱床を調査研究。1972年から2年間スウェーデン・ルンド大学に留学。中部スウェーデンのリダヒッタン鉱山の銅・鉄鉱床を調査研究。1997年からインド・ヴィシヤカパットナム地域の Gondwana 大陸の岩石の構造の調査研究に従事。著書（共著）「北海道の石」（北大出版会、2000年）。

講演要旨 ブラックスモーカーは、銅・鉛・亜鉛などの有用金属を含む熱水が、深海底の煙突（チムニー）状の噴出孔から噴出しているものです。この現象の発見は20世紀末、地球科学最大の発見の1つと言っても過言ではありません。ここでは現在も有用鉱物資源の沈殿がおこなわれ、またその周辺には酸素を必要としない生物たちが、暗黒の中で独自の生態系を作っています。ペルー沖でのブラックスモーカーの発見・研究に大きな貢献をしたアメリカのアルビン号の映像を見ながら、これまでナゾとされてきた層状含銅硫化鉄鉱床や、クロコウと呼ばれる銅・鉛・亜鉛などの金属鉱床の成因について、ブラックスモーカー発見がもたらした新しい解釈について述べます。また、驚くべき新たな生物群の発見と生命の起源の問題にも触れてみたいと思います。

場所 札幌市環境プラザ 2F 環境研修室 1・2  
札幌市北区北8条西3丁目 JR 札幌西口

参加費 千円 定員 60名

主催 NPO 法人北海道海浜美化をすすめる会

後援 北海道、札幌市、北海道自然保護協会・

申し込み FAX: 011-215-8468 電話 090-2058-4453  
email [hamabika2001@gmail.com](mailto:hamabika2001@gmail.com)

